

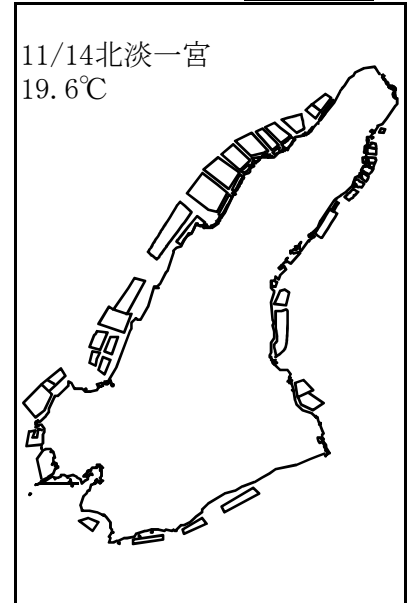
兵庫県のり漁場環境情報 (淡路周辺海域 4号)

平成29年11月17日発行
兵庫のり研究所

窒素は、一部漁場を除き淡路周辺海域全域において概ね6～7 $\mu\text{g at} / \text{L}$ となっており、ほぼ平年並～少し高い状況でした。

(珪藻) 灘漁場では前回(11/7調査)同様、コシノディスカスが200細胞/L確認されており、窒素が3 $\mu\text{g at} / \text{L}$ とやや低い値を示した。阿万漁場や東浦南部漁場においてもコシノディスカスが200～250細胞/L確認され、前回と比較しやや増加している。これ以外の珪藻は少なく、大量発生していたスケルトネマもほとんど確認されなかった。一方、播磨灘に面する漁場では、コシノディスカスは60細胞/Lまでと大きな増減はない状況。他、キートセロスやリゾソレニア等の珪藻が散見されるが、特に問題となる状況ではない。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	2.4	5.9	5.6	6.7
	リン	0.24	0.47	0.58	0.54
西浦地先	窒素	8.3	6.9	5.1	6.1
	リン	0.89	0.63	0.62	0.61
南浦地先	窒素	8.3	5.3	5.3	8.2
	リン	0.80	0.56	0.63	0.77

(11/7)

(11/18)

栄養塩 (窒素) 図

平成29年11月17日調査

